

複合施設の可能性

— 地域に役立つ図書館を考える —

松本大学

伊東 直登

■図書館は役に立つ、と思ってますか？

目指すもの — 役立つ図書館 —

人と資料（情報・人）をつなぐ

図書館が役立つとは、

- ・情報を的確に届けること
- ・情報との新たな発見や出会いを創出すること

図書館機能と他機能をつなぐ

図書館が役立つとは、

- ・今までに無いサービスを提供すること
- ・新しい図書館を地域に生み出すこと

複合施設えんぱーくが生んだ、「つなぐ」という思想

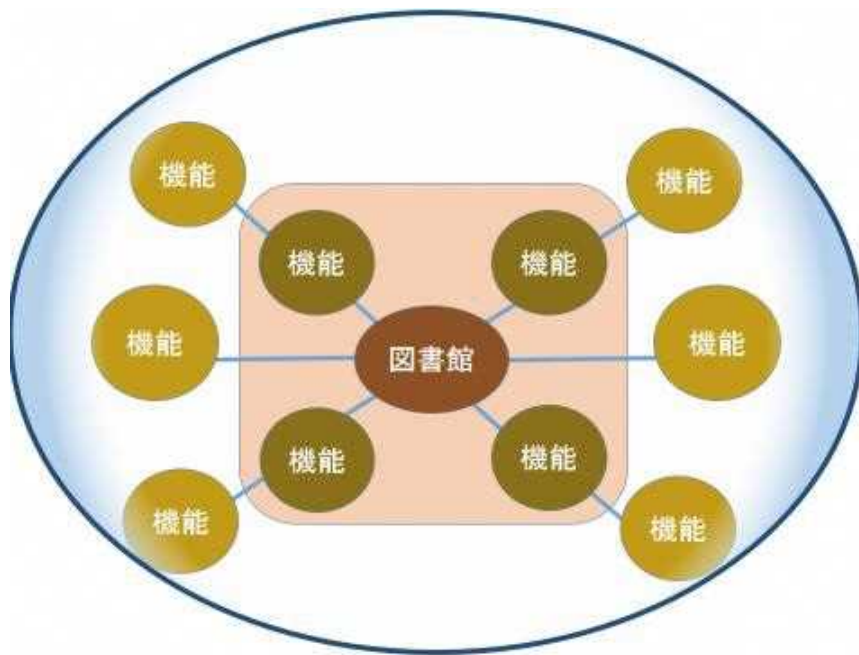
言い続けた「機能融合」

図書館単独ではできない新しいサービスの創出

■地域を応援する図書館活動

図書館ができる「つなぐ」仕掛け

- ・必ず情報（本）と人をつなぐ仕掛けづくり
- ・ほかの機能（組織・人）とつながることで得られる新しい図書館サービス
- ・ほかの機能を応援し、その先の役に立つバックアップサービス
- ・人や知識、活動が交流し、つながり合う「場」の提供



■ 役立つ図書館を目指して

今までに無いサービスを提供する、新しい図書館を地域に生み出すとは、「図書館」が、その地域に無くてはならないものとなる取り組みのことと考えています。

そのために、

- ・ 今までの既成概念からの脱出
- ・ 地域の多様な機能や分野との連携

⇒ 地域を支え、地域の拠点となる図書館

それは、利用者と職員、両者の意識からつくられるもの

ありがとうございました。